

平成24年度 食と地域の交流促進対策交付金 事業実施主体 評価一覧

①【子ども交流推進(子ども農山漁村交流プロジェクト)】 2件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
1	沖縄総合事務局	沖縄県	金武町	金武町ふれあい交流協議会	↔	■			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、様々なチャンネルを利用して農林漁家に情報発信を行ったことにより、農林漁家民泊体験の内容・情報は町内で確実に浸透し、目標を上回る民泊提供者を確保でき、また、民泊での受入実績も着実に増えており、総合的に成果を十分上げていると認められる。
2	沖縄総合事務局	沖縄県	八重瀬町他	沖縄南部広域農山漁村協議会	↔	■			B	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、受入農家の人材育成のための講習会などを実施し、農林漁業体験の受入数については目標をほぼ達成しているものの、地域の協働・連携体制構築のために小学校1校の宿泊体験活動を受入れたが目標数に届かず、総合的に成果をある程度上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例 : 交付金対象年度 ←→ 目標年度■

②【観光と連携した都市農村交流推進(グリーン・ツーリズム)】 4件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
3	沖縄総合事務局	沖縄県	南城市	「島まるごと有機の島」をつくる有機農業体験交流推進協議会	↔	■			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、体験プログラムの構築に向けたプログラムのテスト試行(6回)の実施などを通じて、目標を上回る交流人口を確保でき、総合的に成果を十分に上げていると認められる。
4	沖縄総合事務局	沖縄県	大宜味村	おおぎみツーリズム地域協議会	↔	■			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、農家民泊受入講習会や人材育成講習会に多数の参加者が集まり、また受入民泊会員の加入も促進されてきていることで民泊受入準備がおおむねできたとともに、被災地(宮城県石巻市)との観光・物産交流の定着が見込めることから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

5	沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	池間島暮らしツーリズム協議会			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、体験ツーリズム事業の導入に向けてワークショップの実施などを通じて、目標を上回る交流人口（民泊受入人数）、地元運営者数を確保でき、総合的に成果を十分上げていると認められる。
6	沖縄総合事務局	沖縄県	石垣市	石垣島田舎体験 プロジェクト実行委員会			B	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、着地型観光の受入体制構築、体験プログラム開発などに向けて、受入民家の人材育成のための講習会などを実施し、受入れ地域の連携体制が構築されつつあり、総合的に成果をある程度上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例：交付金対象年度 目標年度

③【定住促進】 1件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
7	沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	来間島地域ふるさと活性化推進協議会					A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、空き家活用講演会、自生している植物を食材とした料理試食会、空き家に明かりを灯すナイトウォーキング等のイベントの実施を通して、目標を上回る定住者を確保することができ、総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例：交付金対象年度 目標年度

④【都市人材の活用推進(田舎で働き隊)】 2件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
8	沖縄総合事務局	沖縄県	宮古島市	城辺元気づくり推進協議会					B	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、「心のケア」に対する実践地域の視察研修、研修生を中心としたプログラムの構築などに取り組み、長期滞在型プログラムの構築は目標を達成するも長期滞在者数が目標に届かず、総合的に成果をある程度上げていると認められる。

9	沖縄総合事務局	沖縄県	国頭村	ユナムンダクマ推進クラブ				A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、都市部の若い人材を活用し、実践研修、広報事業などに取り組み、新規プログラムの実施回数、参加者数ともに目標を上回り、総合的に成果を十分上げていると認められる。
---	---------	-----	-----	--------------	--	--	--	---	--

(注意)「事業実施段階」の凡例 : 交付金対象年度  目標年度 ■

⑤【農村環境の活用推進】 1件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階		評価	評価コメント	
					H23	H24	H25	H26	
10	沖縄総合事務局	沖縄県	大宜味村	大宜味つばきの森地域育成協議会				A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、椿の森の管理・保全などの実践活動や住民参加による苗づくり、人材育成も実施され、村づくりを担う若手グループとの協働や、椿の里づくりに向けた地域が一体となった体制整備がなされるなど、総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例 : 交付金対象年度  目標年度 ■

⑥【集落型産地振興】 3件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
11	沖縄総合事務局	沖縄県	伊平屋村	いへや“薬草王国・野の薬女王国”物語	↔	■			B	商品開発は目標を達成したが、加工所の確保が遅れたため、加工販売に至らず、一部目標に達成しなかったが、6次産業化を目指したサトウキビ加工品については、食品衛生法上適正であることが確認され、商品化の目処がたった。また、交流ツアーオーにおいて薬膳料理を提供して好評を得ており、総合的に一定の成果を上げていると認められる。今後の商品開発においては、新たな視点を加えてみるなど、他商品との差別化を図り、目標達成を望みたい。
12	沖縄総合事務局	沖縄県	本部町	田空地域協議会	↔	■			B	計画の取組項目のうち1つ未実施な項目があったものの、「伝統・郷土料理の発掘・普及」「イベント開催」の取組により「田空の駅」を中心とした地域住民の活動が活発になり、都市との交流の取組の基盤ができつつあり、また、作成した伝統郷土料理レシピ集が好評で、沖縄県給食会や都市住民へも配布を行うなど、総合的に一定の成果を上げていると認められる。今後は、地域イベントと連携した企画などを検討するなど、交流人口の増加を目指し、目標達成を望みたい。
13	沖縄総合事務局	沖縄県	うるま市	あがいびすく協議会	↔	■			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、「島の宝のこし事業」の取組により都市と農村の交流が実現され、交流人口が目標を大幅に超えるとともに、「島の商品つくり事業」で開発した黄金芋パイやドラゴンソースジャム等、島の特産品の販売につなげ目標を上回る売上となつたことから、総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例 : 交付金対象年度 ↔ 目標年度■

⑧【医療・介護の場としての活用推進】 1件

No	各農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H23	H24	H25	H26		
14	沖縄総合事務局	沖縄県	糸満市	沖縄ソーシャルファーム協議会	↔	■			A	計画どおり全ての項目及び内容を実施する中で、農家等の所得向上のためのイベント及びソーシャルファーム体験交流プログラムのテスト試行などに取り組み体験交流プログラムの形が明確になってきており、農家の所得向上につながる部分がわざかではあるが、目標も達成しており総合的に成果を十分上げていると認められる。

(注意)「事業実施段階」の凡例 : 交付金対象年度 ↔ 目標年度■

【平成24年度食と地域の交流促進対策交付金の評価概要】

1. 食と地域の交流促進集落活性化対策

平成24年度事業の評価では、平成23年度に採択された11団体及び平成24年度に採択された3団体の計14団体を評価した。

交流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められる評価「A」が9団体、全体の64%、取組が一定程度実施され、成果もある程度上がっていると認められる評価「B」が5団体、全体の36%であった。

全ての団体において、本交付金により各団体の地域の課題解決、交流推進等の取組基盤が強化され、一定の成果が出ていると認められる。

また、交流促進計画に基づく取組がほとんど実施されず、成果も上がっていない団体はなかった。

【平成24年度食と地域の交流促進対策交付金評価委員会の議事概要】

評価委員会

1. 日 時:平成25年9月20日(金)13時30分～16時30分

2. 場 所:沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者:

・評価委員会委員

小宮 康明(委員長) 琉球大学農学部准教授

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役社長

武田 寛枝 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

新城 治 沖縄県農林水産部村づくり計画課長

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 4名

4. 議事概要

1)食と地域の交流促進対策交付金の評価について

・食と地域の交流促進集落活性化対策の実施団体の評価内容案について、委員の意見への回答及び評価内容案への反映結果を事務局から説明し、委員からの意見聴取を行った。

2)食と地域の交流促進対策交付金の評価結果案のとりまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、食と地域の交流促進集落活性化対策の各実施団体の評価結果案について、実施要領別紙様式第14号及び公表用様式にとりまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

No.1 金武町ふれあい交流協議会

- ・民泊提供者の増加に伴い、民泊利用者も増えたかどうかも成果として目標設定に入れてみてはどうか。
- ・事務局体制について、行政との連携の必要性がある等、見直しを含めた体制づくりの方向性が示せたのは、成果のひとつではないか。

No.2 沖縄南部広域農山漁村協議会

- ・農林漁業体験で人気のあったメニューを観光資源としてプロモーションしていくといいのではないか。
- ・素通りしていたお客様に宿泊してもらうために、南部地域は漁業のツールがたくさんあるので活用してはどうか。
- ・奥武島のハーリーやグラスボート観光等の活用、また南部は地下水の湧水が豊富で共同井戸も多く、子供らの遊び場所として、交流プログラムに活用してはどうか。

No.3 「島まるごと有機の島」をつくる有機農業体験交流推進協議会

- ・事業実施主体の名称に「有機の島」とあるのに、取組には一切触れていないので、次年度以降は「有機の島」の計画が進んでいくことを期待したい。
- ・農業体験だけでなく、ノロの方々による島に伝わるイラブーの漁法についてのビデオ撮影をし、その鑑賞会や燻製作りなどの見学もプログラムに組み込んではどうか。

No.4 おおぎみツーリズム地域協議会

- ・目標が細かく設定されており、取組内容及び成果もわかりやすく素晴らしい。

No.5 池間島暮らしツーリズム協議会

- ・ワークショップを実施した成果やPRポイントを、マスコミ等に向けてプロモーションをし、観光客誘致に向けて取り組んでほしい。
- ・池間島のグラスボート観光業者とタイアップし、島の美しい海中を遊泳する熱帯魚を観賞するプログラムも取り入れてはどうか。

No.6 石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会

- ・着実に成果が上がっていると認められるので、次年度以降に期待したい。
- ・民泊農家が増えれば全体の収益が上がるは当然なので、例えば1軒あたりの目標収益等を設定するなど、目標設定方法を検討してはどうか。

No.7 来間島地域ふるさと活性化推進協議会

- ・空き家を利用して誘致した定住者の満足度を上げることを、島民全体で取り組んでほしい。
- ・ハーブアイランド来間島構想も是非実現をしてほしい。
- ・引き続き空き家を活用し積極的に定住者を誘致し、宮古島のロールモデルの島として移住のノウハウを蓄積していただきたい。

No.8 城辺元気づくり推進協議会

- ・城辺で心を回復し、元気になって社会復帰した人数をカウントすることで、取組のアピールポイントになると思うので、目標設定の見直しは可能か。
- ・東平安名崎や城辺総合公園などを有する風光明媚な地域の優位性を活用したイベントの企画などは、さらなる交流の増加に繋がるのではないか。

No.9 ユナムンダクマ推進クラブ

- ・外国人の誘致も成果としてあがっているが、交流人口を増やす目的の対象を、今後県内都市部や県外の人々もターゲットとしてはどうか。
- ・与那地区は集落内の道も狭いので入って行きにくいという印象を受ける。また、共同売店の開店時間が限られているなど地区内での課題も残っていると思うので、今後、これらの課題解決に向け取り組むことは重要と考える。

No.10 大宜味つばきの森地域育成協議会

- ・若手のグループと連携を図っていることは地域の活性化にとって良く、体制がしっかりとっているので、継続性を期待したい。
- ・「大宜味つばき」のブランド化や、大宜味つばきやシークワーサーを使った「ネイルオイル」などを作り、女性をターゲットにプロモーションするのも面白いと思う。

No.11 いへや“やくそうおおこくのなじょうこうく”葉草王国・野の葉女王国”物語

- ・交通の不便さをカバーしながら、こころざしや取組はすばらしかったと思う。
- ・伊平屋の農産物を使った化粧品なども企画し、薬膳料理と並び「美の島 伊平屋島」という切り口も面白いと思う。
- ・昔ながらの調理法(アイゴの稚魚の塩漬けやらっきょうの漬け物等)を受け継ぐような取組を行ってもおもしろいのではないか。
- ・伊平屋漁協とタイアップし、薬膳料理に魚介類をプラスしたメニュー作りをすればより食への魅力が増し人気が高まるものではないか。

No.12 田空地域協議会

- ・郷土料理の品数や講習会の回数など成果を上げていて、コア施設の有効活用などが果たせている。
- ・本部町のさくら祭りに合わせ、イベント開催を企画・広報し、桜見物と田空地域協議会が企画したイベントの両方を楽しめる工夫をしてはどうか。
- ・さくら祭り会場での郷土料理出店など、イベントの場を利用してアピールする方法を検討してはどうか。
- ・具志堅ビーチの美しさを活用し、ビーチでのフェアの開催など、都市部からの誘客につなげる新企画を検討してはどうか。

No.13 あがいびすく協議会

- ・島に住む人+島出身者で伊計島を元気にする。という切り口が素晴らしい。
- ・成果もあがっているので、この仕組みを永続的に続けられるように取り組んでいただきたい。
- ・古民家修復の技師が増えたことは大変よい。

No.14 沖縄ソーシャルファーム協議会

- ・目標を交流人口においているので達成となるが、目標設定が甘いのではないか。
- ・次年度以降の目標としては、障害者の支援や農家所得増加などに重点を置いてはどうか。

担当課：沖縄総合事務局農林水産部経営課、土地改良課